

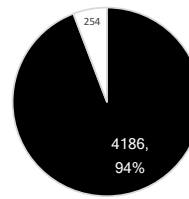
大阪府監察医事務所の概要

- 医療機関外死亡 ほぼ全例
大阪市内の死亡者の6人に1人
- 非犯罪死体の死因診断
病院搬送例は、約4割だが、
病院での死因診断例は、**3%**
- 突然死が40%、自殺例は全例取扱
但し搬送突然死は高齢者、勤労人口は不搬送が多い
- 大阪市内心臓死の40%~50%を取り扱う
- 運営費は8300万円(所長・監察医人件費、28署巡り費、
署監察医事務所間搬送費含む)
収入は5600万円、府の負担は2700万円
※ 遺族負担1万1千730円
- 大規模災害対応

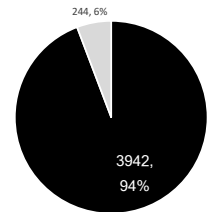
例: CTを導入するとコストは1千万以上削減可能?

救命救急活動の実態 —大阪府監察医事務所取扱例の解析

救急車現着例(2015)



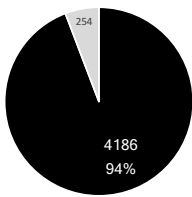
現着時心肺停止(2015)



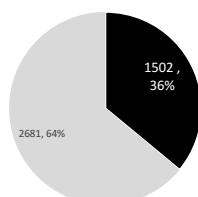
現着時、心肺停止例 94%

救命救急活動の実態 —大阪府監察医事務所取扱例の解析

救急車現着例(2015)



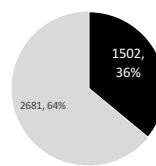
搬送例(2015)



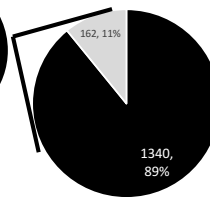
大阪市内において救急車が呼ばれた事例 94%
その内、搬送例 36%
約1,500例

救命救急活動の実態 —大阪府監察医事務所取扱例の解析

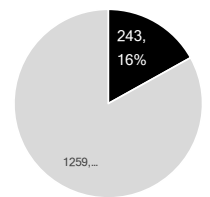
搬送例(2015)



病院到着時心肺停止例(2015)



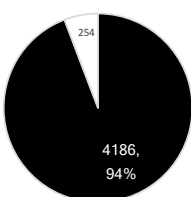
心肺再開例(2015)



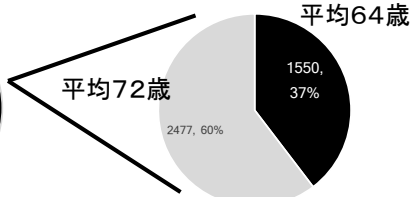
病院搬送例の内、病院到着時心肺停止例は89%

発症後1時間以内の突然死:救急車現着例 —大阪府監察医事務所取扱例の解析

救急車現着例(2015)



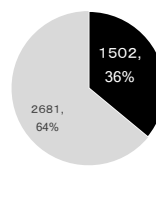
発症1時間以内の突然死(2015)



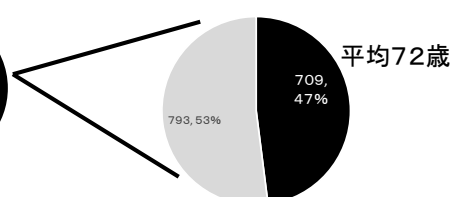
※突然死: 死因となるイベントが生じてから1時間以内
剖検例で心臓内流動血を認めたもの
結論: 救急車が現着している例で、突然死が約4割

発症1時間以内の突然死:搬送例 —大阪府監察医事務所取扱例の解析

搬送例(2015)



搬送例の内突然死(2015)



取扱突然死例の内、
病院搬送された例 約5割

搬送された例は
平均72歳の高齢者